サレテ居タモノヲ再檢討シテ夫々多クノ改廢ヲ行ツテ數目ヲ設立シ、天南星科カラせきしやう科 (*Acoraceae*) ヲ獨立セシメテソノ詳細ナ細分ヲ述ベタ。ソノ他いね目 (*Poales*, 5科ニ分カツ), いね科 (*Poaceae*, 6 族ニ分カツ), ゆり目 (*Liliales*, 28 科ニ分カツ), ひがんばな科 (*Leucojaceae*, 14 族トスル), たしろいも目 (*Taccales*), いちはつ目 (*Ixidales*), かばのき目 (*Betulales*, 2 科アリ), まつも目 (*Ceratophyllales*), ひつじぐさ目 (*Nymphœales*, 4 科), めぎ科 (*Berberidaceae*, 7 亞科), けし目 (*Papaverales*, 3 科), なたね目 (*Brassicales*, 3 科), いしもちさう目 (*Droserales*), *Bruniales*, あぢさゐ目 (*Hydrangeales*, 8 科), うめばちさう目 (*Parnassiales*), べんけいさう目 (*Crassulales*), まんさく目 (*Hamamellidales*, 5 科), すゞかけのき目 (*Platanales*, 1 科), ばら目 (*Rosales*, 8 科), ばら科 (*Rosaceae*, 7 亞科), まめ目 (*Fabales*, 5 科), ねむのき科 (*Mimosaceae*, 8 族), けつめい科 (*Cassiaceae*, 35 族) 等々ヲ新定或ハ改定シ、檢索表デ夫々ノ隷下ノ新科、新族等ヲ記載シタモノデ、一般的ニ見テ從來ソノ包含スル處ガ大キク且ツ雜多デアツタモノヲ細カク純粹ナモノニ是正シタト思ハレル。兎ニ角少ナイ頁ノ中ニ豐富ナ內容ガ極度ニ壓縮シテ盛ラレテアリ、翫味スルニツレテ滋味ノイヨイヨ溢レ出ルノヲ覺エル。分類學ニ關係ノアル方々ハ御持チニナツテヨイ本デアル。500 部限定出版デ功績記念事業會デ關係方面ニ配布シタモノデアルガ發行所ノ北隆館ニハ猶ホ殘部ガアリオ頒チ出來ル由ニ聞イタ。

○昆蟲ト植物 2 件　(前川文夫)

くちなしハ盛夏開花ノ頃ニモ芽ガ伸ビルガ極ク若イ芽デハ葉ノ先端ニ黃綠色ノ南京玉位ノ丸イ樹脂樣物質ヲヨク分泌シテ居ル。コノ頃ニハ又おほすかしばガ花ノ香リヲ尋ネテハ產卵ニ來ル。卵ハ少數ガ若葉ヤ若芽ノ表ニ散ラバツテ產ミツケラレルガ、ソノ形、色澤、大キサ共前記ノ分泌物ト見マガフ位ニ似テ居ルノハ偶然トシテモ顯著ナモノデアル。

まうせんごけノ葉ガ昆蟲ヲ捕ヘルコトハ常識ダガ、大型ノモノハ捕ヘズ、大キサハセイゼイ蠅位デアツタヤウデアル。近頃發行ノ塚本閤治氏: 奧日光ヲ見ルト鬼怒沼ノ濕原デハもうせんごけガ蜻蛉ヲ捕ヘテ、タメニ赤ク見エル位ダト書イテアル。寫眞モ入ツテ居ル。記事ヲ擔當サレタ矢島市郎氏ニ日光デ御會ヒシタ時ニ伺ツタ處デハ同處デハヨク見ラレル現象ダサウデアル。日光湯元ノ鶏ハ飛ビ上ツテ赤蜻蛉ヲ喰フ由デアルカライササカ力ノ弱イ種類カモ知レナイガソレニシテモ大キナモノガカヽルモノデアル。

○日本產れんりさう類　(原　寬)

れんりさうハえぞのれんりさう類 (廣義ノ *Lathyrus palustris* L.) カラ別種トシテ區別スル方ガヨイ。えぞのれんりさう類ハ全株殆ド無毛又ハ軟毛ヲ有シ、小葉ハ 1–4 對デ線形乃至橢圓形、托葉ハ半箭形、卷鬚ハ通常 2–3 岐シ、蕚裂片ハ長鋭頭ヲナスガ、れんりさうハ嫩部ハ莖葉共ニ伏毛ヲ密生シ、莖ハ稍直立、小葉ハ 1–3 對、常ニ狹長デ線形又ハ披針形、兩端ニ向ヒ細マリ、長サ 3–10 cm 幅 4–10 mm、小葉ノ側脈ハ一層顯著デ各側 2 本ヅツ小葉下部ヨリ略平行シテ先端ニ迄達シ、托葉ハ常ニ狹長、裂片ハ狹披針形デ針狀ニ尖リ幅